

## 第2回飯豊連峰保全シンポジウム

# ～原点をふりかえり、明日への一步を踏み出そう～

飯豊連峰保全連絡会設立から今年で5年目を迎えます。平成20年2月に開催された飯豊連峰保全シンポジウムでは、みんなで一丸となって飯豊連峰の保全に取り組んでいくことが提起され、多くの人々がそれぞれのスタンスで保全活動に関わり、試行錯誤を繰り返しながら進められてきました。新たな仲間も増え、保全活動の原点を振り返りつつ、これからの飯豊連峰のあり方について一緒に考えましょう。

### 【シンポジウム プログラム】

2月18日(土)

13:30 開会あいさつ

13:40 飯豊連峰保全連絡会の設立理念、活動経緯

14:00 基調講演

「市民参加により見えてくる山の明日  
- 環境保全における市民活動の意義 -」

菊池俊一氏 (山形大学農学部准教授)

15:00 パネルディスカッション

「原点をふりかえり、明日の一步を踏み出そう」

○コーディネーター

井上邦彦 さん (NPO 法人飯豊朝日を愛する会)

○パネラー

加賀谷亮 さん (つが桜山岳会、山都町ふるさとガイド協会)

川端郁子 さん (株式会社ニュージェック)

菊池俊一 さん (山形大学農学部)

清水洋樹 さん (小国山岳会)

鳥居敏男 さん (東北地方環境事務所)

中村義雄 さん (下越山岳会)

16:30 閉会

日時：2月18日(土)13:30～16:30 参加無料

場所：おぐに開発総合センター 集会室

主催：飯豊連峰保全連絡会、環境省東北地方環境事務所

※お申し込みは2月14日(火)までに、裏面の「申込用紙」またはE-mail でお願ひします。



## 【講師プロフィール】



### きくち しゅんいち ■菊池 俊一

1965年、青森市生まれ。山形県鶴岡市在住。  
青森県立青森高校から北海道大学農学部林学科に進学。同大学大学院に進学後、1992年11月からは同大学助手を17年間勤めた。2009年10月に山形大学農学部へ転出し、准教授となる。現在の所属は、山形大学農学部森林科学コース森林影響学分野。専門分野は流域保全・再生学。流域とは、物質・エネルギーの流れが水系により繋がるシステムである。流域において発生する多様な環境変動（火山活動、地すべり、崩壊、洪水、人為など）と生態系の相互関係を調べ、その関わりをいかに保全すべきか、いかに修復・再生すべきかについて考えている。2002年に論文「樹木群の流域環境変動に対する応答履歴解析に関する研究」で博士（農学）の学位を取得した。

## 【会場案内図】

「おぐに開発総合センター 集会室」  
〒999-1352  
山形県西置賜郡小国町大字岩井沢 704  
TEL 0238-62-2141 FAX 0238-62-2143

### 《行き方》

- JR米坂線小国駅下車 徒歩約10分
- マイカー利用可（駐車場有り）



## 【関連行事】主催：飯豊連峰保全連絡会

- 懇親会 日時：2月18日（土）18:30～ 参加費 5000円（宿泊、夕・朝食を含む。寝具持参）  
場所：旧小玉川小中学校
- 飯豊を語る会 日時：2月19日（日）9:00～12:00 参加無料  
場所：旧小玉川小中学校

## 《申込み用紙》

※出席を希望されるものに○をつけて下さい。

お名前	シンポジウム	懇親会	飯豊を語る会

## 【ご連絡先】

所属： 代表者：  
住所： 〒

TEL： FAX： E-mail：

## 【お申し込み先】飯豊連峰保全連絡会 事務局

環境省東北地方環境事務所羽黒自然保護官事務所 担当：坂本，佐々木  
〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL0235-62-4777 FAX0235-62-4537 E-mail RO-HAGURO@env.go.jp

※お申し込みは2月14日（火）までに「申込み用紙」またはE-mail お願いします。